

学会員の生涯学習や腎専門医取得に際する学習の一環として、日本腎臓学会学会誌では特集号に関連する問題を掲載し、解答と解説は日本腎臓学会のホームページにて公表いたします。

特集 腎臓病のエンドポイント： セルフトレーニング問題

問題1 急性腎障害 (acute kidney injury : AKI) について正しいのはどれか。1つ選べ。

- a. 7日以内に血清クレアチニン値が基礎値の2.5倍に上昇した場合に KDIGO の診断基準では AKI ステージ2と診断される。
- b. 血清クレアチニン値と尿中 NGAL は同時期に上昇する。
- c. 低用量のドパミンには AKI の予防効果がある。
- d. 敗血症に AKI を合併することは少ない。
- e. AKI 症例は慢性腎臓病(CKD)に進展することはほとんどない。

問題2 IgA 腎症において腎予後不良因子として不適當なのはどれか。

- a. 不十分な血圧管理
- b. 蛋白尿の程度
- c. 肉眼的血尿
- d. 血清補体価
- e. 診断時の血清クレアチニン値の上昇

問題3 15歳の女性。生来健康であった。2日前より腹痛があり近医を受診。精査のために施行された腹部超音波検査で両側の腎臓に2個ずつ直径1cm程度の嚢胞を認めた。両親は健康であるため、特に通院や検査などは受けたことがないが、母方の祖母が40代にくも膜下出血で死亡している。本例の診断根拠と診断を示す。正しいのはどれか。1つ選べ。

- a. 家族歴がなく嚢胞が両腎に2個ずつしかないため、常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)とは診断しない。
- b. 家族歴はないが嚢胞が両腎に2個ずつあるため、ADPKDと診断する。
- c. 祖母がくも膜下出血の既往があるため、ADPKDの家族歴がある可能性があるが、嚢胞が両腎に2個ずつしかないため、ADPKDとは診断しない。
- d. 祖母がくも膜下出血の既往があるため、ADPKDの家族歴がある可能性があり、嚢胞が両腎に2個ずつあるため、ADPKDと診断する。
- e. 祖母がくも膜下出血の既往があるため、ADPKDの家族歴がある可能性があるが、嚢胞が両腎に2個ずつしかないため、現時点ではADPKDと診断できない。

問題4 ループス腎炎の寛解導入療法の治療効果をみる臨床試験において、主要エンドポイントの設定に利用されることの多い項目はどれか。1つ選べ。

- 1) 血清クレアチニン値
 - 2) 尿蛋白量
 - 3) 尿沈渣
 - 4) 血清補体価
 - 5) 抗 dsDNA 抗体価
- a(1.2.3) b(1.2.5) c(1.4.5) d(2.3.4) e(3.4.5)